

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

〔令和3年4月19日
林業課
ため池・農地防災担当〕

1 要旨

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和3年3月末時点での進捗状況について報告する。

2 進捗状況

(単位：箇所)

施設名	実施箇所 ※	契約済			工事完了		
		2月末まで ①	3月 ②	3月末まで ①+②	2月末まで ①	3月 ②	3月末まで ①+②
農地・農業 用施設	4,317 (4,924)	3,711 (86.0%)	86	3,797 (88.0%)	2,168 (50.2%)	329	2,497 (57.8%)
林道 施設	312 (315)	290 (92.9%)	14	304 (97.4%)	182 (58.3%)	24	206 (66.0%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和3年3月末現在）
〈 〉は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

3 現状

農地・農業用施設については、契約が約9割進むとともに工事完了も約6割となり、営農の再開が進んでいる。また、林道施設についてもおおむね契約を終え、工事完了が約7割に達している。

なお、大規模に被災した地域の権利調整や、農家負担金を低減するための工法検討が必要な箇所、隣接する河川等の災害復旧工事との工程調整が必要な箇所など、完了まで時間を要す箇所についても復旧までの間、仮設用パイプなどの資材を市町から提供するなど営農の再開を支援している。

4 今後の見通し

地元調整や隣接工事との調整により、今年度発注となる箇所については、被災者に対し復旧時期の見込みなど丁寧な説明を市町に要請するとともに、市町の実情に応じた効果的な対策を講じ、早期の営農再開に努める。

《復旧事例》

頭首工（三次市）



林道（廿日市市）

